

○インバウンド需要の回復、コロナ禍を経た通訳案内士の就業状況の変化、改正通訳案内士法施行から5年経過等、通訳案内士を取り巻く環境が大きく変化するなかで、通訳案内士団体等から、現状抱えている課題のヒアリングを実施し、抽出された課題解決及び外国語ガイドの充実を図るため、ガイド人材の制度に係る調査・検討会を実施する。

背景・課題

1. 通訳案内士法上の有資格者・多様な主体の外国語ガイド 共通課題

- ①ガイドの不足、言語や地域毎の偏在
- ②ガイドの高齢化

2. 多様な主体の外国語ガイドに係る課題

- ①多様な主体の外国語ガイドの質の維持、向上
- ②多様な主体の外国語ガイドの活用の検討

3. 通訳案内士法上の有資格者に係る課題

- ①通訳案内士間におけるガイド技術の格差
- ②法定研修未受講者（違法状態）の取扱い
- ③認知度及び付加価値向上の為の「バッジ」の取扱い

4. 登録研修機関に係る課題

- ①登録研修機関における研修水準の格差

5. 全国通訳案内士試験に係る課題

- ①外国語科目免除の拡大検討
（ポルトガル語・繁体字等）
- ②恒常的な赤字体質運営
- ③受験者数の低迷
- ④通訳案内試験問題の見直しの検討